

(15)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 03142698 A

(43) Date of publication of application: 18.06.91

(51) Int. Cl

G07G 1/12

G06F 15/30

(21) Application number: 01282650

(22) Date of filing: 30.10.89

(71) Applicant: ANRITSU CORP

(72) Inventor: AOBA MASAO

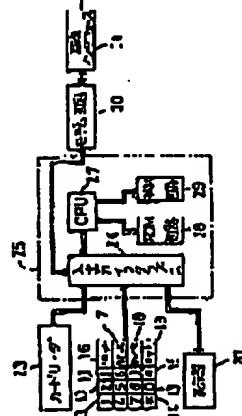
(54) CARD TERMINAL

COPYRIGHT: (C)1991,JPO&Japio

(57) Abstract:

PURPOSE: To perform payment and point collection with one credit card by providing a point information storage means to store point information converted from information proper to a card with a conversion means, and a point information transmission means to transmit the point information to a prescribed point company.

CONSTITUTION: Keys 13-19, a display 20, and a card reader 23 are connected to a control part 25 comprising of a microcomputer, and the control means 25 is comprised of an input/output interface 26, a CPU 27, a ROM circuit 28, and a RAM circuit 29, and the processing procedure of the control part 25 for the execution of a credit job and a point job is stored in the ROM circuit 28 in advance. At such a case, when proper information is read from the credit card at a state where a specific key is operated and an amount is inputted, the proper information and converted point information are stored as the point information, and it is transmitted to the prescribed point company. Thereby, the point job can be performed with a card terminal for credit card.



⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 特許出願公開
⑪ 公開特許公報 (A) 平3-142698

⑫ Int. Cl.
G 07 G 1/12
G 06 F 15/30

識別記号 321 L 8610-3E
Z 6798-5B

⑬ 公開 平成3年(1991)6月18日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 カード端末機

⑮ 特 願 平1-282650
⑯ 出 願 平1(1989)10月30日

⑰ 発明者 青葉 雅穂 東京都港区南麻布5丁目10番27号 アンリツ株式会社内
⑱ 出願人 アンリツ株式会社 東京都港区南麻布5丁目10番27号
⑲ 代理人 弁理士 早川 誠志

明 篇 図

1. 発明の名称

カード端末機

2. 特許請求の範囲

カード読み取手段によってクレジットカードから読み取られた固有情報と、金額入力手段によって入力された金額情報を前記クレジットカードに応じたクレジット会社に送信して支払いの承認を受けるカード端末機において、

ポイント処理を指定するための特定キーと、

前記金額入力手段によって入力される金額を点数に換算する換算手段と、

前記カード読み取手段で読み取られるカードがクレジットカードかポイント専用カードかを判別するカード判別手段と、

前記特定キーが操作されたとき、または前記カード判別手段でポイント専用カードと判定されたとき、前記カード読み取手段で読み取られるカードの固有情報と前記換算手段で換算される点数情報と

を一つのポイント情報として記憶するポイント情報記憶手段と、

前記ポイント情報記憶手段に記憶されたポイント情報を所定のポイント会社に送信するポイント情報送信手段とを備えたことを特徴とするカード端末機。

3. 発明の詳細な説明

<本発明の産業上の利用分野>

本発明はカード端末機に関する。

<従来技術>

買物等の支払いの際、その金額に応じた点数券をその店から受取り、この点数券を集めて台紙等に貼付けておいて、所定の点数になったら、点数券と交換に点数に応じた物品がもらえるポイントシステム(例えばブルーチップやグリーンスタンプ)が従来よりあった。

<解決すべき課題>

しかしながら、このように買物の際に少しずつ受け取る点数をきちんと集めておくことは煩わしく、紛失してしまうこともある。

5の処理手順が予め記憶されている。

30は、電話回線を介してデータ通信を行なうためのモデム回路、31は回線インターフェースである。

次に、この制御部25の処理手順を第1図のフローチャートに従って説明する。

始めに、#キー15がオン操作されない状態で通常のクレジットカードがスライド溝12に挿入されてスライドされ、このカードの固有コードが読み取られると、このカードがクレジットカードであるかポイント専用の会員カードであるかが判定される(ステップ1~5)。

クレジットカードであると判定された場合、支払いの対象となる商品の区分コードの入力指示が表示器20に表示され、商品の区分コードが読み取りなく入力された状態でセットキー19がオン操作されると、この区分コードは登録される(ステップ6~8)。

次に、支払い金額の入力指示が表示器20に表示され、金額が数字キー13より入力されてセク

による連絡や支払い区分の訂正等)を行なう(ステップ17~18)。

以上の処理はクレジットカードによる支払いの処理手順であり、ステップ1で#キー15がオン操作された場合(クレジットカードによるポイント処理)やステップ4でポイント専用カードと判定された場合は以下に説明するポイント処理がなされる。

ステップ1で#キー15がオン操作されると、ポイント会社に対する短縮コードの入力指示がなされ、この短縮コードが入力されてセットキー19がオン操作されるとこの短縮コードに対応するポイント会社のダイヤル番号がテーブルより読み出される(ステップ20~22)。

次にカードの読み取りが指示され、カードの固有コードが前記同様の操作によって読み取られると、その固有コードは登録される(ステップ23~25)。

次に金額の入力が指示され、セットキー19がオン操作されると、この金額が点数に換算されて

トキー19がオン操作されると金額データが登録される(ステップ9~11)。

次に、支払い方法の入力指示が表示され、1~5までの数字キー13のうち、希望される支払い方法(一括支払い、ボーナス支払い等)に対応した数字キーがオン操作され、セットキー19が操作されると、この支払い区分コードが登録される(ステップ12~14)。

ここで終了/実行キー18が操作されると、このクレジットカードに応じたクレジット会社へダイヤリングがなされ、これまでに登録されたクレジットカードの固有コード、商品区分コード、金額データおよび支払い区分コードが1つのクレジット情報としてモデム回路30および回線インターフェース31を介して通信される(ステップ15、16)。

この通信処理により、クレジット会社から承認メッセージが受信されると、その承認番号が表示器20に表示され、非承認メッセージが受信された場合は、このメッセージに従った処理(電話に

その点数データが登録される(ステップ26~29)。

ここで、実行/終了キー18がオン操作されると登録された固有コードと点数データとが1つのポイントデータとして保持(タイキング)され、同一のポイント会社に対するポイントデータが20個に達した否かが判別され、20個に達した場合は、短縮コードに対応したダイヤリングがなされ、この情報がポイント会社に送出され、ポイント会社からの受取りメッセージを受けたことを確認した後、リセットキー18の操作により一連の処理を終了する(ステップ30~35)。

なお、このポイントデータが20個以下の場合はステップ1に戻り、20個になるまで同一の処理がなされる。

なお、このフローチャートでは示していないが、点数換算に必要な換算データ(例えば100円/ポイント)は、店舗で所有しているポイント設定用の専用カードを読み取ることによって設定登録するよう構成されている。